



ご挨拶



PTA会長 鈴木 寛子

会員の皆さまには日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。本年度、PTA会長を務めさせていただく鈴木寛子と申します。

今の社会はVUCA時代と言われている。VUCA(ブーカ)とは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性) という四つの単語の頭文字をとった言

葉で、目まぐるしく変化する予測困難な状況を意味するそうです。そのような時代の中で、一人ひとりのウェルビーイングを実現するために必要な力が、三重県教育ビジョンにおいても「自立する力」「共生する力」「創造する力」だと示されています。

主体的に学び、困難に向き合い、責任ある行動をとる「自立する力」。価値観の違いや多様性を認め合い、他者と共に支え合って生きていく「共生する力」。環境の変化に対応する柔軟性や適応力、既存のやり方にとらわれずに新たなアイデアを生み出す創造力や問題解決力である「創造する力」。これらの力は、今後の超スマート社会においても、AIやロボットによる代替が困難な「人」による力であると思われます。

PTAは、子どもたちの健全な成長を願い保護者と教員がお互いに学びあつて高め合つていく社会教育関係団体です。子どもたちが、柔軟な思考力、行動力、チャレンジする心を育み、明日への希望を胸に、笑顔あふれる未来を切り拓いていくことができるよう、子どもたちの最大の応援団として、子どもたちの成長に一番近くで寄り添うことができ、一年になればと考えております。

また、持続可能な社会の実現に向けて、先を見据えた新しいPTA活動のあり方を模索していくことも必要であると思えます。今年度も引き続き、PTAの「不易」と「流行」を大切にしながら、皆さまと協働し、精一杯取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、ご支援とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶



校長 井ノ口 誠充

保護者の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、本校は、文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール(SHS)」の三期目の指定四年目を迎え、次の時代を見据えた特色ある教育活動に取り組んでいます。生徒には二つの「そうぞう」力を高めてほしいと思います。心に思い描く、想像力と、新しいものをつくり出す、創造力です。多くの仕事は人工知能にとって代わられつつある現代、人間だからこそできる「想像」と「創造」は益々重要な要素となっています。本を読み、他人の人生を追体験するなどして想像力を高めるとともに、松高SSHをはじめとする探究活動に積極

極的に取り組み創造力を高めてほしいと思います。また、十何年前からの新語・流行語大賞のトップテンに「スマホ」がありました。今や「スマホ」は「あると便利」「から」ないと不便なものになっています。現時点において有効に必要な知識や技術だけでなく、将来の社会の変化に応じてその都度有効に必要なものを習得できる力を高めてほしいと思います。

六月七日の体育祭では、生徒は「知性と身体をフルに活用しながら、担任とクラスがさらなる同調を図り、活気ある松阪高校を作る」を目標に、存分に楽しんでいただくように思いました。特に三年生のパフォーマンスを見て、一、二年生はきつと刺激を受けたことでしょう。何事も一生懸命だと知恵が出ます。中途半端だと愚痴が出ます。いい加減だと言いつけが出るでしょうか。今にしかできない努力を精一杯して、失敗を恐れず挑戦してほしいと思います。

本校で学ぶ生徒が、それぞれの可能性を伸ばし、逞しく生き抜き、リーダーとして成長できるように、教職員一同全力で取り

組んでまいります。保護者の皆様には、本校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

東海地区

高等学校PTA連合会

「三重大会」

六月二十一日に三重県文化会館大ホールで開催された東海地区高等学校PTA連合会「三重大会」に参加しました。本大会は、東海地区の高等学校の充実に努め、東海地区の高等学校教育並びに社会教育・家庭教育の振興を図ることを目的とした大会になります。当日は梅雨の中休みで晴れ間が垣間見える中、東海四県から保護者と教職員が一同に会し、研鑽に努める貴重な機会となりました。

今年度は、開会式のあとに研究協議が行われました。

最初に、三重県立神戸高等学校PTAより「これからのPTA活動」というタイトルで研究発表が行われました。神戸高校PTAでは、コロナ禍を経てPTA活動のあり方について検討を重ね、SNSを用いた畫面総



東海地区高等学校PTA連合会「三重大会」

会の実施や文化祭行事の見直しなど「新しいPTA活動」として動き出されたそうです。発表は、「保護者と学校が丸となり協働する中で、子どもたちによりよい高校生活を送ってもらうという意思には変化はなく、これからの時代や社会に寄り添い、子どもたちのために何ができるのかを考えて行動していきたい」という言葉で締め括られていました。

次に、愛知県立半田工科高等学校PTAより「コロナ禍に委員で作るPTA活動」というタイトルで研究発表が行われました。半田工科高校PTAも、コロナ禍においてPTA活動をど

のように継続させていくかを試行錯誤していく中で、近年関心が高まっている震災に関連した新しい企画展を実施したり、従来から行ってきた登校指導や卒業式に向けての取組などの充実を図るなど、委員や保護者にとつてより良い形へと変化させることができたそうです。発表は、「伝統を守りながらも、目の前にいる子どもたちに何ができるのか？ 充実した学校生活を共に目指していきたい」という言葉で締め括られていました。

両校からは、今まで温めてきた大切な想いを根底に、時代に寄り添ったPTA活動を模索されるというPTAの「不易と流行」について教わったような気がしました。

研究協議のあとは、地球の広報・旅人・エッセイストであるたかのてるこさんより「世界は、愛でできている／自分の全細胞が、毎日自分自身を応援している！」という演題でご講演をいただきました。「自分をほめて愛して、人生を思いきり楽しむ秘訣」や「人と比べず、自分らしく生きるとコツ」などを、ご自身が世界七十四カ国を駆け巡ら

れた経験から得られた様々な大切な気づきをもとに、ユーモアを交えた会場中を笑いに包み込みながらお話いただきました。人と人とのつながりに改めて感謝の思いでいっぱいになると共に、自分自身を大切にすることの大切さについても真摯に向き合うことのできる貴重な時間となりました。

「三年生オールスターズ」

三年生在 有田 香

「どのクラスの発表を見ても、みんな頑張ってるな、って涙が出てくる」

これは六月七日に行われた体育祭の三年生パフォーマンスを見ていた、ある生徒の言葉です。松阪高校では体育祭の午後は三年生が各クラス独自のパフォーマンスを披露するのが恒例となっています。コロナ禍にはできない時期もありましたが、一昨年に復活し、今年度も無事に行うことができました。各クラスが考えたパフォーマンス内容を成功させるために、朝や放課後に集まって練習をする姿や仲間と大きな声で笑い合う姿が校内

のあちらこちらで見られ、校内は活気に満ちていました。クラス内で意見の衝突があったり、うまくできないこともあったりしたようですが、自分たちで声をかけ合い、本番ではどのクラスも趣向を凝らしたパフォーマンスになりました。体育祭終了後の生徒たちの満足した笑顔がそれを物語っていました。「一人ひとり誰もが主役」で本当に嬉しかったです。

三年生になってからの学年集会で、「今年は毎日が“高校生活最後”。だからこそ一日一日を大切に、学年全員と一緒に頑張ろう」と話しました。学校行事にも勉強にも一生懸命取り組み、充実した一年にしたいと考えたからです。しかしそんな言葉など不要だったと思うくらいの雰囲気になっていると実感しています。

今から挑む大学受験はやはり大きな壁です。一人で乗り越えるのは精神的にも肉体的にも大変です。しかし同級生みんなで乗り越えようと、不思議と乗り越えられるものです。「受験は団体戦」いつも言われる言葉です

が、これは団結の大切さを表すものだと思います。三年間で培った団結力を活かして、受験と一緒に乗り越えていきたいと思っています。

もちろんこの「団結力」には保護者の皆様と学校の団結も欠かせません。手を取り合って一緒にお子様を支えていきたいと考えていますので、ご協力よろしく願いいたします。

「挑戦する力」

一学年主任 平 浩幸

二年生となり、はや三か月が経とうとしています。基本的な学年の指導方針は昨年度と変わりません。生活面では、「身の

周りの整理整頓」、「ルール・期限・時間を守ること」、「掃除にきちんと取り組むこと」です。学習面では、「平日三時間・休日四時間の家庭学習時間の確保」です。一つ学年が上がり、高校生としての自覚を持ち、自分の人生を描きつつ希望を実現できる力が培われることはもとより、人間として成長してほしいと思っています。

学校行事においても昨年度以

上に熱心に取り組む姿が見られました。四月に実施された遠足では、海外からの観光客も増加し、混雑する京都清水坂周辺を限られた時間でより充実させるためにグループでしつかり事前に調べている姿がありました。六月の体育祭では最速リレーや台風の日などに全力で挑み、二年八組が見事総合優勝しました。今年度から制作することになったクラス旗も色が付きやすい絵の具や墨を試行錯誤しながら探し、放課後残って作成している姿もありました。十月に実施する修学旅行に向け、今後さらにクラスや学年のメンバーとの親睦を深めていってほしいと思っています。

進路面では、志望大学・学部・学科を決めていく時期です。秋頃には受験科目を選ばなくてはなりません。そのためには、自分の将来像をベースに、大学で何を学びたいのかを明確にしていく必要があります。高校二年生の夏は、学習するのももちろんのこと、SSH発展探究の探究活動や部活動、各大学が実施するオープンキャンパスや高校生対象の公開講座など参加でき

る時期です。この時期をどのように過ごすかでお子様の進路に大きく影響を与えます。だからこそ様々なことを経験し、挑戦していく気持ちも持つてほしいと考えています。

今後も学習面や友人関係、部活動などいろいろなことに悩みを抱えることも多くなると思います。昨年度同様、学年団一同、保護者の皆様と連携しつつ、生徒を見守っていききたいと思っています。お気づきの事がございましたら、いつでもご連絡いただけると思います。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

一学期を振り返って

一学年主任 中西 克之

入学式から三か月が経ち、今ではお子様は松高生として堂々と毎日を過ごされています。

四月の遠足では、入学当初の緊張が解け、クラスの雰囲気が見えるようになりました。六月の体育祭では、仲間が団結する姿が見られ、松高生の力強さを感じることができました。生徒は、仲の良いグループで楽しく過ごす

一方で、周囲への気配りや声掛けを心がけ、協調して日々を過ごしています。時には居場所づくりに悩む姿も見られますが、我々教員は、生徒のようすを見守り、安心して学習できる環境作りに努めたいと思います。

我々は三つの目標を掲げて、学年をスタートしました。

①秩序ある生活習慣を確立する。②自ら学ぶ勉強習慣を確立し、真の学力をつける。③主体的に行動し、進路探しをする。

特に一学期は、生活習慣や学習環境を作り上げることに重点をおきました。これらは、進路実現には欠かせないことであり、自律した大人への第一歩です。忙しい毎日ですが、生徒には、授業・部活動・家庭学習をうまく組み込んだ生活習慣を作り上げてほしいと考えています。

担任との面談では、多くの生徒が勉強と部活動の両立に苦労していると話しています。帰宅が遅くなるので、十分な勉強時間をとるのは大変なことです。しかし、生徒は、試行錯誤しながら、少しでも勉強をしようという頑張っています。保護者の皆様

は、お子様の姿をご覧になり、心配なこともあるかと思いますが、お子様の努力を、温かく見守っていただければ幸いです。

生徒には、夏休み中に自分の進路を見つめるよう呼びかけています。二学期には、文理選択登録があります。これは、進路に大きく影響しますので、保護者の皆様もお子様と一緒に考える時間をとっていただけたら幸いです。その際には、近くの大

学に限らず、全国に目を向けていただき、お子様の可能性を探っていたきたいと思っています。今後、学年団一同、保護者の皆様と連携しながら生徒を見守っていききたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



令和六年度松阪高校の進学状況

進路指導主事 小林 泰

令和六（二〇二四）年度入

試における本校卒業生の四年制大学の合格者数は、国公立大学一四六名（現役一三六名）（昨年一七六名、現役一七〇名）、私立大学五二五名（現役五二二名）（昨年七一〇名、現役六九八名）でした。うち難関大は、大阪大学三名、名古屋大学五名、神戸大学一名でした。地元の三重大学は四三名（現役四二名）合格しました。また、三重県立看護大学は九名でした。国公立大学の合格者数は、昨年度より一クラス四〇名減少したものの、現役で一三六名となるなどすばらしい結果を残すことができました。東京大学に現役で合格者がなかったことは残念でしたが、地元三重大学への合格者数が四〇名を超えたことや、国公立大学の合格者数が、八クラス編成であった令和元年度とほぼ同じであったことは現役生の頑張りを強く感じることができます。また、看護系においては、三重大学医学部看

護学科と三重県立看護大学に計

一一名合格しました。将来、教
 員や医師、看護師として地元で
 活躍してくれる人が増えている
 ことは大変喜ばしいことです。
 大学入學共通テストの平均点は
 昨年より上がりましたが、ボー
 ダー得点が上昇し志望校決定が
 難しい受験となりました。しか
 し、今年の卒業生も最後まで諦
 めずに努力を続けた生徒が多
 く、その成果が例年以上に現れ
 た結果となったのではないかと
 思います。資料①

令和六年度共通テスト

共通テストの正式名称は「大学入学共通テスト」で、各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。毎年一月中旬の土・日曜の二日間 nationwide に一斉に実施される、日本最大規模の試験です。

国立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成

績を利用する。共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須といっても過言ではありません。

令和六(二〇二四)年度の大学入学共通テストは、一月三日・一四日の両日に実施されました。志願者数は四九一、九一四人(昨年五二二、五八一人・前年比九六%)、現役志願者数は昨年から一七、三三九人減の四一九、五三四人(前年比九六%)、既卒生志願者数は三、四三二人減の六八、二二〇人(同九五%)となりました。

多くの国公立大で必要となる七科目の受験者平均点は、文系型で昨年から六点増の五三・六点（九〇・〇点満点）、理系型で九点増の五五・七点（九〇・〇点満点）となりました。資料②

四年目の実施となった今年の共通テストですが、従来の出題傾向から大きな変化はありませんでした。複数資料の提示、日常や学習場面での問題解決を題材とした出題、および教科固有の「思考力・判断力・表現力」をより深く問うというコンセプトは継続しています。

日常生活を題材にした出題では、「数学Ⅰ・数学A」で電柱

の高さと影の長さの測量について考察する問題が出題されました。

「化学」では解熱鎮痛剤や抗生物質などの医薬品が題材となるなど、身近なトピックからの出題が随所でみられました。

また、本試験では初めて連動型問題が出題されました。連動型問題は、最初の設問の解答により、次の設問の解答が変わる問題で、「世界史B」で出題されました。なお、「国語」では今年も「実用的な文章」は出題されませんでした。

一方、かねてより指摘されている問題分量ですが、今年は「化学」で前年から七ページも増加しました。七科目受験した場合の問題冊子のページ総数は、センター試験時と比べ、五〇～六〇ページ増、約三割増となっています。

「国語」「生物基礎」「生物」「地理B」などで平均点が上昇しました。一方、「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」「日本史B」「政治・経済」などで平均点がダウンし

ました。「英語」ではリーディングで平均点がダウンしたものの、リスニングでアップしたことで、英語全体では前年並みの平均点となりました。過去最多

ワード数であった前年からさらに文章量が増加したため、成績上位層であっても解くのに時間がかかったようです。加えて設問では現代文の小説で求められるような、登場人物の心情を推し量る問題などが出題され、高得点がとりにくい出題となっていました。

数学では「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」ともに平均点はダウンしましたが、難問と思われる出題ではありませんでした。解き方の方針・問題設定の理解力が必要とされ、数学的な思考力を問うことに重点を置いた問題が出題されました。

「国語」は漢文以外では複数文章の関連づけの負担が減りました。読解自体に時間をとることができる出題となり、平均点は約二〇点アップしました。

前年難化し、得点調整の対象となった「生物」ですが、今年は易化しました。考察問題の出题が減り、標準的な知識問題の割合が増加したことが要因と考えられます。

地歴では「日本史B」で平均点がダウン、「地理B」でアップしました。複数の資料や会話文などから必要な情報を読み取り、知識と結びつけ総合的に判

令和6年度入試 国公立大学 合格者数

	現役	過年度生	計
大 阪	3		3
名 古 屋	5		5
神 戸	1		1
難 関 大 計	9	0	9
北 見 工 業	1		1
筑 波	2	1	3
横 浜 国 立	1		1
お 茶 の 水	1		1
東 京 外 国 語	1		1
東 京 学 芸	1		1
東 京 農 工	1		1
金 沢	2		2
富 山	2		2
福 井	2		2
信 州	1	1	2
静 岡	8		8
岐 阜	1		1
愛 知 教 育	6		6
名古屋工業	4	1	5
三 重	42	1	43
滋 賀	3		3
大 阪 教 育	1		1
和 歌 山	1		1
広 島	1		1
鳥 取	2		2
山 口	1		1
徳 島	1	1	2
香 川		1	1
大 分	1		1
高 崎 経 済	1		1
横 浜 市 立	2		2
都 留 文 科	1		1
富 山 県 立	1		1
敦 賀 市 立 看 護	1		1
静 岡 文 化 芸 術	1		1
公立諏訪東京理科	2		2
静 岡 県 立	2		2
岐 阜 薬 科	1	1	2
名古屋市立	1		1
愛 知 県 立	1	1	2
三重県立看護	9		9
滋 賀 県 立	2		2
福 知 山 公 立	1		1
大 阪 公 立	3		3
神戸市外国語	2		2
神戸市看護	1		1
兵 庫 県 立	2		2
島 根 県 立	1		1
岡 山 県 立	1	1	2
尾 道 市 立	1		1
下 関 市 立	1		1
山 陽 小 野 田	1		1
周 南 公 立	1		1
沖縄県立芸術		1	1
計	136	10	146

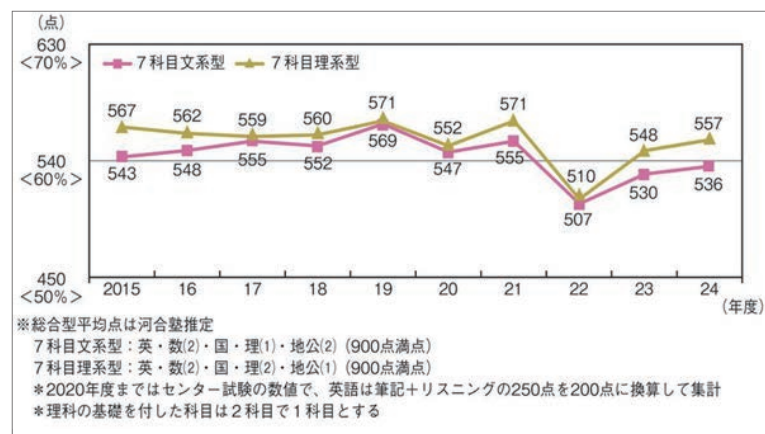
資料① 卒業生の進路状況

進路区分	普通科			理数科			総合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
国 立	30	22	52	22	19	41	52	41	93
公 立	7	16	23	2	8	10	9	24	33
私 立	38	68	106	5	13	18	43	81	124
国公立短	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立短	0	2	2	0	0	0	0	2	2
大 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専 修	2	5	7	0	0	0	2	5	7
各種(予備校)	2	1	3	7	4	11	9	5	14
就 職	1	0	1	0	0	0	1	0	1
無 職 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	80	114	194	36	44	80	116	158	274

最近5か年の大学合格数 ()内は過年度生

区分	年度	R6年度 入 試	R5年度 入 試	R4年度 入 試	R3年度 入 試	R2年度 入 試
国公立	合格	146(10)	176(6)	170(13)	155(11)	150(11)
	入学	133(7)	164(5)	155(11)	128(9)	137(10)
私立	合格	515(3)	710(12)	577(18)	707(26)	667(40)
	入学	126(2)	140(5)	135(0)	154(6)	171(8)
短期	合格	4(0)	6(0)	4(0)	13(1)	7(0)
	入学	2(0)	4(0)	3(0)	5(0)	4(0)

資料② センター試験・共通テスト 5教科7(8)科目 平均点推移



「地理歴史」「公民」では出題科目が大きく再編されるほか、数学②では「数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ」の1科目となります。試験は二日間で実施されますが、違う時間帯で受験していた

新課程入試について
現高校三年生から新学習指導要領がスタートしました。新課程に対応した二〇二五年度入試では、大学入学共通テストの教科・科目の再編など、大掛かりな変更があります。二〇二五年一月に実施される共通テストでは、新教科「情報Ⅰ」を加えた七教科二科目へと再編されます。

として、二七四名が受験しました。松阪高校の平均点は文系四九三・八点(昨年五三三・〇点)理系五六〇・七点(昨年五五六・九点)という結果でした。

断する傾向は変わりませんでした。公民は「倫理 政治・経済」を除く科目すべてで、平均点が

ダウンしました。共通テストは、二年前の数学難化や、前年の理科の得点調整

など、当初は難易度の調整に苦心する様子があったが、本年度はしっかりと対策してきた

受験生にとっては、努力が実りやすい出題でした。本校は、三重大学を受験会場

「理科①」「理科②」が同一時間帯となり、「国語」が八〇分から九〇分へ、「数学Ⅱ・数学B・数学C」が六〇分から七〇分へと増加するなどの変更が予定されています。

二〇二三年五月には、各国公立大学の「情報」の扱いが公表されています。大学によって様々であるのはもちろん、同じ大学同じ学部であっても、学科ごとに異なる場合もあり、志望校について事前によく調べておくことが重要です。

松阪高校の取り組み

文武両道の校訓の名のもとに、例年一・二年の夏期課外は、午前中に実施し、午後から部活動を行っています。

部活動も課外も両方気兼ねなく活動が行え、課外受講率も増え、ほぼ全員が受講する科目も出てきています。来年度以降もこの方針で実施していく予定です。

「大学入学共通テスト」では、『学力の三要素』を多面的・総合的に評価するものへと転換することが必要と記されています。『学力の三要素』とは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持つて多様な人々

と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」を指します。従来の入試は、三要素のうち「知識・技能」が重視されてきた側面があり、多面的・総合的な評価になっていないことが指摘されてきました。今後は、三要素をいづれかに偏らず評価すること、そのために多様な選抜方法を実施することが一層求められていくことになりそうです。

本校は、スーパーサイエンスハイスクールに指定されており、「探究」活動の中で、先に示した『学力の三要素』のうちの特に「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を育む学習内容の研究・開発に積極的に取り組んでいます。

令和七年度入試

令和七（二〇二五）年度共通テストの出題方法や試験時間は、昨年から一部大きく変わります。国公立大学の入試要項は七月頃に発表になりますが、大学ホームページで常に最新の情報を確認してください。

理科の受験科目「科目を共通テスト出願時（九月中）に申請します」ので、三年生は夏休みに理科の受験パターンを決める必要があります。進路指導部では

毎年、「進路の手引」を作成して、本校卒業生の入試結果などの資料を提供しています。なお、進路に関する個人情報取り扱いには十分な注意を払っておりませんが、受験のために必要な進路情報を入手するために予備校などと連携を図っています。この点をふまえ模試や合否情報の提供にご理解をいただきますようお願いいたします。

さらに各学年の目標に応じて、諸情報（大学・学部・学科案内、オープンキャンパス、難易ランキング、など）や、将来の職業選択のための案内を載せた冊子を全員に配布しています。ご家庭でも一緒にご覧いただけると思います。個別的情報は、進路指導室の資料、インターネットのホームページ（各大学、大学入試センター、予備校など）で見てください。また、保護者の方も参加できる学校説明会やオープンキャンパス等が多くあります。ぜひ実際に足をお運びください。

今後とも、松阪高校の進路指導部にご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

生徒指導部より

生徒指導主事 竹内 伸

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校における生徒指導に対し、ご理解、ご協力をいただきまことにありがとうございます。

本校では毎朝登校指導を行っています。校門付近は非常に交通量が多い上に、小中高の登校時間が重なるため、危険な場面が多々あります。しかし、ながらスマホ、イヤホンの装着、並列での自転車走行等の行為が見られ、交通安全に対する認識が欠けている気がします。現実には一歩間違えば、事故につながることも、加害者になることも十分考えられます。今後交通安全指導について注意喚起をしていきたいと思います。ご家庭で、余裕を持って登校できるようにご協力をお願いします。また、朝の送迎に関しては、七時五〇分までは校内への乗り入れは可能です。それ以降は、本校周辺（約五〇〇m圏内）での乗降は控えてください。近隣や外部からの苦情があります。ご協

力のほどよろしくお願いいたします。また、昨年四月より自転車のヘルメットが努力義務となりました。今年五月にヘルメット着用調査を行ったところ、全体の五〇％しか着用はありませんでした。今後も着用を積極的に勧めていきたいと思いますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いします。

本校では校内でのスマホ、携帯電話が一定の条件のもと使用可能となっています。正しい使い方をすれば大変便利ですが、使用方法を一歩間違えると本人のみならず他者に悪影響を与えてしまいます。トラブルで特に多いのが不適切なSNSの使い方です。他者の批判や悪口を書き込む、あるいは無断で他者の写真を掲載するなど、あまり深く考えずにSNSを使用してしまうと取り返しの付かないことが起こってしまいます。また、闇アルバイトへの勧誘も増えてきています。再度、ご家庭においてもスマホ等の使い方やSNSの怖さについて話す時間を持つていただきたいと思います。年度初めに、挨拶の大切さについてお話をさせていただきま

した。周囲の人に挨拶を発信するだけで、相手が気持ち良くなり、良好な人間関係が築ける第一歩ですので、高校時代に身に付けてほしいと思っています。ご家庭においても、挨拶の大切さについて話す機会を持つていただければと思います。

夏休みに向けて

いよいよ夏休みが始まります。学期中とは異なり、自由に使える時間が大幅に増加します。時間をいかに有効に使うかは本人次第です。生徒の皆さんは本校の校訓である「自主自律」を体現できるように、是非とも有意義な時間を創り出し行動に移してください。自由な時間があるが故に不規則な生活になつてしまつたり、ルールを逸脱する行動をしたりしてしまつては、せっかくの夏休みが台無しです。二学期に元気な、そしてひとまわり大きく成長した皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様におかれましては、お子様の生活についてしっかりと見守っていただくようよろしくお願い致します。

SSH研究発表会

六月十八日、シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢にて、SSH研究発表会を開催しました。昨年度から一年を通して課題研究に取り組んだ三年生のうち、四月のポスター発表会にて選ばれた八チームが研究内容を発表しました。

最優秀賞

肌が弱い人でも使用できる実用的な消毒液の開発

優秀賞

二糖類によるバイオプラスチックの強化

特別賞

睡眠が与える勉強の質と効率の違い



◎全国大会出場

第48回全国高等学校総合文化祭
文芸部 文芸部門 詩の部
三年七組 岡 和樹
郷土地理部 郷土研究部門
二年一組 清水 綾乃
二年二組 余谷 莉瑚
第71回全国高等学校総合体育大会
アーチェリー
三年四組 橋本 盛
ボウリング
一年三組 田中 陽翔
第71回NHK杯全国高校放送コンテスト
放送部 朗読部門
三年二組 西本 遥

◎東海大会出場

第71回東海高等学校総合体育大会
陸上競技部
5000m 競歩 三年四組 西村 歩華
100m・200m 三年四組 喜多 萌衣
走高跳 二年二組 芹田 悠花
400mH 三年六組 協谷 空杜
ソフトテニス部
女子団体の部 向井 新汰
女子個人の部(ダブルス)
三年一組 黒瀬 麻央
三年七組 加藤 美遥
フェンシング
三年二組 伊藤 圭吾
第68回中日本総合大会
ソフトボール部
第76回中日本卓球選手権大会
卓球部
二年六組 宮田 航志

◎全国大会受賞

日本地理学会 高校生ポスターセッション
郷土地理部
2023年秋季学術大会 理事長賞
三年五組 藤田 葵子

2024年春季学術大会 理事長賞
三年五組 山中 琴羽
三年六組 中西 柚名
二年一組 清水 綾乃
第10回全国高等学校ヒッパトール決勝大会
優秀賞 三年七組 松本 陽菜
令和7年度全国高等学校PTA連合会大会
ポスター 優秀賞
三年六組 見永 もい

令和六年度PTA本部役員

会長	鈴木 寛子
副会長	橋本 健
書記	高橋 佐和子
書記	大川 恭二
会計	上村 恭啓
会計	白根 紗知子
会計	森川 直昭
一学年部長	村田 絹代
二学年部長	青木 智美
三学年部長	土田 志穂
顧問(校長)	雄谷 陽子
副会長(教頭)	井ノ口 誠充
副会長(教頭)	守屋 宏美
書記(教員)	奥田 進也
書記(教員)	豊田 公弘
書記(教員)	森田 俊樹
会計(事務)	川田 千賀美
会計(事務)	上田 真美

PTA会計監査

監査	上 前 真由子
監査	福田 麻衣
監査	疇地 美佳

令和六年度体育祭

令和六年六月七日晴天のもと、第七一回松阪高校体育祭が行われました。昨年から保護者の観覧ができるようになり、多くの方が見守るなか、

クラスが一丸となって熱気溢れる競技やパフォーマンスなどに汗を流していました。どの競技にも真剣に取り組み、

応援し声を掛け合う姿に松高生らしさを感じることができました。生徒の皆さんにとっても、心に残る最高の思い出のページになったことと思います。

最後になりますが、体育祭開催に際しましてご指導、ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

PTA会 白根 紗知子



三年七組パフォーマンス「青春オールスターズ」



三年三組パフォーマンス「Lilac ～恋の芽生え～」



三年六組 クラス旗

体育祭結果

総合優勝

二年八組

総合準優勝

三年六組

クラス旗優勝

三年六組

パフォーマンス優勝

三年七組



騎馬戦



しっぽとり



松高最速クラス決定リレー



MIX リレー